

日本ASEAN友好協力50周年記念国際シンポジウム in ジャカルタ
林芳正外務大臣ビデオメッセージ（仮訳）
（2023年7月25日（火））

ラクサナ・トリ・ハンドコ・インドネシア国家研究イノベーション庁長官、御来賓の皆様、参加者の皆様。日本国外務大臣の林芳正です。

日本ASEAN友好協力50周年を記念して、国際交流基金とインドネシア国家研究イノベーション庁によって、本日のシンポジウムが開催されることにお祝い申し上げます。

日本は、半世紀にわたり、心と心のつながるASEANの真の友人として、地域の平和と安定・繁栄のために協力してきました。私自身も、つい先日インドネシアで開催されたASEAN関連外相会議において、各国の友人と交流を深めてきたばかりです。

現在の強固な日ASEAN関係の礎にあるのは、幅広い国民間の交流を通して築き上げた信頼と尊重に他なりません。国際交流基金は、「文化のWA(和・環・輪)」プロジェクトの下、文化交流や知的交流の促進、日本語教育支援を通じて、日ASEAN間の人と人とのつながりの強化に貢献してきました。

このような関係を次世代につなげていくためにも、こういったプロジェクトの後継となる、魅力ある人的交流の取組を、今後も更に推進したいと思えます。

本シンポジウムのテーマである「モビリティ」は、複雑な今日の世界情勢を読み解き、より強靱で持続可能な未来を築く上で重要なキーワードです。

さらに日本ASEAN友好協力50周年のキャッチフレーズである「輝ける友情、輝ける機会」を生み出していくためには、ヒトやモノに加えて、知恵やアイデアの移動を更に活発にさせていくことが重要です。本日のシンポジウムは、その土台を作るための一助となると確信しています。

日本とASEANは、本年12月に東京で特別首脳会議を開催します。この機会に日ASEAN間のモビリティをさらに活性化させ、より平和で、安定し、繁栄したインド太平洋に向けたさらなる日ASEAN協力のためのビジョンを共に創ってまいりましょう。

御清聴ありがとうございました。